

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【北条南中学校】

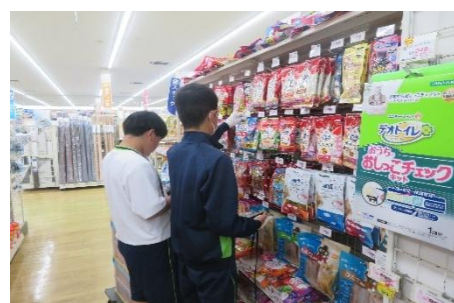
<第1学年：ふるさとを知る>

「ふるさとを知る」を主題に、地域理解を深める探究学習を実施した。事前学習で生徒自らが地域の現状から課題を抽出・設定し、その解決に向けて調査活動を展開した。北条地区のシンボルでもある鹿島を全員で訪れ、それぞれの課題における実地調査を行った。事後学習では、収集した情報をレポートに集約し、学年全体で成果を共有した。この一連の活動は、生徒たちが北条の魅力を再発見する貴重な機会となった。また、SDGsの視点を取り入れることで、持続可能な地域づくりを自分事として捉え、主体的に関わろうとする意欲を育むことができた。



<第2学年：ふるさに学ぶ>

地域の33事業所による全面的な協力のもと、職場体験学習を実施した。生徒たちは、マナー講座で学んだ挨拶や言葉遣いを現場で実践するとともに、事前調査で抱いた疑問を自らの目で確かめるなど、目的意識を持って実習を行うことができた。現場での真剣な仕事ぶりを通じて、働くことの厳しさと喜びを同時に体感したことは、一人ひとりが自身の適性や将来を真剣に見つめ直す、極めて実り多い時間となった。実習終了後には、学んだ内容をまとめる新聞作成に取り組んだ。自身の体験を振り返り、言葉を尽くして表現する作業を行うことで、現場で得た感動や教訓を深い知識として定着させ、次なる学習意欲へとつなげることができた。



<第3学年：ふるさとの未来を考える>

ふるさと北条の未来を見据え、生徒一人ひとりが独自の視点で地域課題を設定し、探究活動に取り組んだ。外部講師を招いた講演会を通じて専門的な知見を得ることで、多角的な視点から課題解決への糸口を模索できた。そのプロセスで得られた気づきや提案を体系的にまとめ、文化活動発表会で全校生徒や地域の方々に向けて発表した。この活動を通じ、地域課題を解決するためには多様な立場の人々との対話が不可欠であることを学び、地域の一員として主体的に貢献しようとする意識の向上につながった。